

令和7年度 北海道小樽水産高等学校 第2回学校評議員会 議事録
日時：令和8年（2026年）3月18日（水）10:00～11:00
会場：北海道小樽水産高等学校 校長室
次第：①校長挨拶 ②議事
出席者：葛西委員・村上委員・伊勢委員 亀山校長・長谷川教頭・八幡事務長
議事： ア 今年度の取組について） 1 現在の在籍数及び生徒の状況 2 生徒特別指導 3 いじめアンケートの結果 4 進路指導 5 その他（特色ある活動や行事等） イ 意見聴取 ＜委員から＞ ・高校での転退学とともに卒業後の進学先、就職先でもやめてしまうことが多いようだ。 ・普通科への転学に理由は水産高校が自分に向かないからか → 水産高校が向かないというよりは、そもそも気持ちが学習に向いていないと思われ、転学も目的・希望があるわけではない ・女子生徒に関して、水産高校は男性教師が多く女子生徒の心理がわからないのでは。保健室での相談がしやすいような環境づくりを → 女性教員の割合は増えている。保健室の利用も多い状況である ・生徒指導件数。ささいなものをあげていることから件数が増えているのか。 → いじめについては、小さなものも認知件数としてしているが要因はそれだけではない。1年生に指導件数が多く、今年の1年生は中学時から問題行動があったようで、他の高校でも同様の状況であるようだ。 ・認知のきっかけとなるものは何か。 → 授業中の様子からわかることもあれば、欠席が増える、保健室への相談、生徒からの直接の訴えなどがある。 ・進学先は → 専門学校が多い。短大・大学は一桁。専攻科への入学も含んでいる。 ・就職地は → 札幌が多い。 ・「地域みらい留学」は志のある人材を道外から募ることができる良い取組だと思う。